PONY

ホースセラピーに
特化した
児童発達支援・
放課後等デイサービス

まずは見学・体験に

ご予約はこちら

PONY　CONCEPT

ホースセラピーを通して
すべての児童が持つ可能性を
夢や希望に繋げていく

馬は人の最も古い友人（パートナー）だ

人が前に進もうとする時、傍にはいつも馬が寄り添ってきた

ひとりひとりの児童の“きらめく個性”は、

夢や希望へ繋げられる“可能性”です

他の誰でもない、自分らしさを育み

いっしょに未来に繋げていきましょう

当施設のスタッフメンバー

PONYの3つの特長

FEATURED

01 馬を介した療育

PONY（ポニー）では、ホースセラピーと呼ばれる療育プログラムの中で、ソーシャルスキルの向上を促します。
乗馬や餌やり、ブラッシングといった様々な馬とのふれあいの中で、「他者への思いやり」や「自ら心を開くチカラ」を育みます。

02 児童の「自分らしさ」を大切にします

私たちは児童 一人ひとりの「自分らしさ」に出会い、輝く可能性に驚き、「生きる」に立ち会える喜びを分かち合うために、「すべての児童が持つ可能性を夢や希望に繋げていく」という PONY の療育方針に基づき、お子さまに合わせたアプローチをご提供します。

03 経験豊富な専門スタッフによる支援

ホースセラピーの専門スタッフはもちろん、精神保健福祉士や認定心理士といった専門の資格を有しているスタッフが在籍しているため、一人ひとりの児童の特性に合わせた療育プログラムの実施が可能です。
また、児童だけでなく保護者様へのアドバイスを通して、家庭内でコミュニケーションの風通しが良くなるようにサポートします。

児童指導員

● 小宮 幹貴

児童の心的環境を整える上での包括的な支援を担当。社会復帰と自立支援の領域にて高い専門性を持つ。障害者支援施設で相談員として従事していた経験を持ち、児童本人の支援だけではなく、家族の相談対応や支援を通じ「児童にとっての最適な環境づくり」に取り組んでいる。

児童発達支援管理責任者

● 川村ゆり

精神保健福祉士 / 認定心理士。
児童の特性に合わせた療育プログラムの監督を担当。様々な福祉施設での 10 年以上に渡る児童への支援経験を活かし、児童の持つ可能性を未来に繋げていく活動に従事。

ホーストレーナー

● EDUARD KEVERKAMP

ホーストレーナー歴 40 年。ホースセラピープログラムと馬の責任者。トレーナーとして国際的にも活躍し、中国での国立大会で優勝した馬を育てた経験もある。その専門性と経験を活かし、児童が安心して乗れる馬の育成・調教を行っている。

ホースセラピーとは？

馬とのふれあいを通じた、ヨーロッパ発祥のセラピー手法です。

ABOUT HORSE THERAPY

ホースセラピーでは、馬のお世話や乗馬といった”馬とのふれあい”を通じて、
触れ合う人に内在するストレスを軽減したり、当人に自信を持たせたりといった効果が期待できます。

心身両面へのセラピー効果が認められるといわれています。

精神的効果

自信・満足感、意思表示、感情表現、
協調性・調和性、相手への思いやりを育む
不安、多動、恐怖心、攻撃傾向を減少

身体的効果

身体の回復、筋力（腹筋・背筋・足腰など）、
柔軟性、内臓機能、平衡感覚、
姿勢へアプローチ

推薦コメント

東京農業大学農学部准教授
獣医学博士
川嶋舟先生

ホースセラピーは、馬とのふれあいすべてがその活動に含まれます。

様々な呼ばれ方をしており乗馬療法などと呼ばれることもあることから乗馬するプログラムであるとイメージされがちですが、実際には乗馬だけではなく、馬へのブラッシングなどのお世話や、厩舎掃除、馬場のボロ（馬糞）とり、馬のエサづくり、全てに意味があります。これらを複合的に組み合わせて結果を得ることができることから、障害があるお子様の長所を伸ばし課題のある特性を調整し社会的に自立できるようにする療育や、様々な生きにくさを抱えた方が社会に居場所を作り自立を目指すプログラムなどにも**効果的**であると考えられています。
馬との関わりの中で学ぶことは実に多く、生きづらさを抱えている方だけでなく、今を生きている方すべてに、心・躰・社会の中にある自分や他者への気づきがあり、生きやすくなるプログラムがホースセラピーといえるでしょう。

ご利用までの流れ

受給者証の申請

各市町村の窓口で申請してください。すでに受給者書をお持ちの方は、福祉サービス利用計画書をお持ちください。

STEP1 お問い合わせ

まずはお気軽にお問い合わせください。
電話またはメールよりお問い合わせいただけます。

STEP2 見学・体験

体験（無料）をおすすめしています。
PONY の雰囲気や療育の進め方を実際に見たり体験したりすることができます。
その際、保護者様の困りごと、お子さまが感じている悩みを**カウンセリング**します。

STEP3 ご利用開始

ご利用にあたり、スタッフよりご契約のお手続きやご利用方法についてご説明をします。その後、簡単なアセスメントを実施し、個人支援計画書を作成させていただきます。

カウンセリングではどんなことを聞くの？

発達について知りたいこと、お子さまの困りごと。何でもお聞かせください
基本情報から、かかりつけ医、アレルギーの有無、特性、特質 etc ..
リラックスしてお話しください。

PROGRAM

PONYの療育プログラムは、1コマ 約50分

こちらは、PONYの基本プログラムです。

お子さまの特性や配慮してほしいことを
お聞かせください。

療育の流れ

あいさつ

“始まりと終わりの時間”を体感するとても大事な時間です。

厩舎のおそうじ

「今日もよろしくね」の気持ちを込めて、お掃除と馬のケアから始めます。
自分の心地良さだけが満たされるのではなく、
そのために苦手なことに向き合う練習を行います。

乗馬

馬に乗ったことがないお子さまでも大丈夫です。
まずは馬と挨拶。馬は人の匂いを覚えるといわれています。
馬の上では視線はまっすぐ。心身の回復、筋力・姿勢にアプローチします。

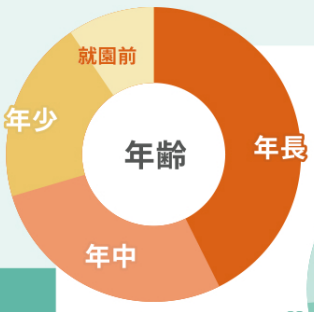
ありがとうブラシ

乗せてくれてありがとう！の気持ちを込めて、ブラッシングを行います。
自分を乗せてくれた後に汗だくの馬を感じると、感謝の気持ちが溢れます。

馬とコミュニケーションを
取りながら作業するお友達

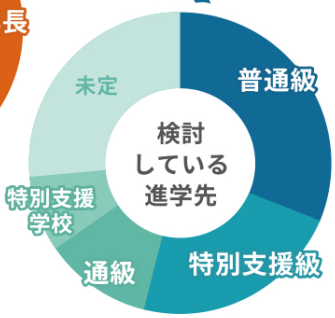
ただ作業に没頭できる時間に
喜びを感じるお友達

今日は楽しかった〜？
お馬さんと仲良くなれた〜？



平均 4.3歳

普通級の希望が 3割



こんなお子さまが通っています

よくある困りごと

- 多動・不注意
- こだわりの強さ
- 癇癪を起こす
- 言葉の遅れが気になる
- 指示の理解が出来ない
- 対人関係のトラブルが起きやすい

だからこそ、お子さまの「自分らしさ」を大切にします

療育の中で成長していったYちゃんの変化

PONYに通う前のYちゃん

同年齢のお友達と言葉でうまくコミュニケーションが取れず、癇癪を起こしていたYちゃん。お友達とのトラブルも多く、普通級から支援学級、そして支援学級でも問題行動（暴力）がありました。
“学校には居場所がないのかもしれない”、
PONYに来てくれた日に、お母さんはそう呟きました。

PONYに通ってからのYちゃん

- 成功体験を通じて**自信を取り戻し**、会話中によく声をあげて笑うようになりました。
- **自分の言葉で気持ちを伝えること**が少しずつできるようになりました。
- 将来の夢が、**人と関わるお仕事“保育士さん”**に変化しました。

※モデルはイメージであり、
実際の利用者さんではございません。

STEP1 アセスメント

ご家庭での様子から、Yちゃんはコミュニケーションが苦手だということがわかりました。
どう接していけばよいのかをアドバイスし、ペアレント・トレーニングから開始しました。

STEP2 関係機関と連携し支援計画の作成

お母さんを始め、関係機関と連携し、支援計画を作成しました。
学校・相談支援事業所・療育施設、そしてPONYでの支援会議も実施。連携が重要です。

STEP3 療育開始

Yちゃんの失敗体験を払拭するため、まず療育で大切にしたのは"成功体験を得る機会を増やすこと"です。成功体験を通じて自信を取り戻し、会話中によく声を出して笑うようになりました。

STEP4 Yちゃんの強みを活かしたプログラム

Yちゃんの"強み"が「優しさ」と「お世話をする事」だと分かり、オリジナルのプログラムを開始。本人の優位性を設定した場面（体操の先生役）を提供し、「教える」という経験をしてもらいました。
スタッフに「励ましの言葉」をかけたYちゃん。人に優しく、穏やかになった行動変容が見られました。

STEP5 年下の女の子とのペアリング

ペアリングを開始。相手は、Yちゃんよりも年下の、発語に課題がある女の子（Aちゃん）です。ある日Aちゃんが乗馬を泣いて拒否していた日。Yちゃんは「"いやだ"っていう気持ちを言葉で言わないと、周りの人はわからないんだよ。」と優しくアドバイスしてくれました。Yちゃんが苦手だった「気持ちの言語化」がAちゃんから聞かれた瞬間でした。

BEFORE

「将来の夢は宇宙飛行士。
宇宙は静かだし、
ひとりでいられるから。」

AFTER

「保育士さんになって、
たくさんお世話したい！」

児童発達支援とは

未就学児（0~6 歳）を対象とした、児童福祉法に基づくサービスの一つです。日常生活の自立支援や機能訓練、保育園や幼稚園のように遊びや学びの場を提供するといった支援を行います。

放課後等デイサービスとは

6 ～ 18 歳の就学児童（※場合によって 20 歳まで）を対象とした、児童福祉法に基づくサービスの一つです。授業の終了後や学校が休みの日に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進などを目的とした多様なプログラムを設けています。

よくあるご質問

Q & A

Q 入会前の見学は可能ですか？

A はい、可能です。
営業時間中は常時予約を受け付けています。お電話またはメールにてご予約を受け付けておりますので、予約時に希望の日程をお申し付けください。

Q 土日も受けられますか？

A はい。土日もご利用いただけます。

Q 利用を開始できる時期、料金を教えてください。

A いつからでも利用を開始できます。年度の途中からでもご利用いただけます。
料金については、児童福祉法に基づく児童発達支援・放課後等デイサービスとして運営しています。通所受給者証を取得することで、自治体の定める日数と自己負担額の範囲でご利用いただけます。どちらのサービスも、ご利用の場合には入会金・教室運営費は不要です。

Q 月に何回くらい利用できますか？

A 週に 1~2 回（月に 4~8 回）の頻度で通っていただく場合が多いです。通える回数の上限については、自治体から発行される「通所受給者証」に記載される、月の上限利用日数により異なります。また、頻度高く継続的に馬とふれあう事でホースセラピーの効果が高まると言われています。

Q 欠席するとき、利用予定日の振り替えはできますか？

A はい、可能です。ご希望に応じてできる限り調整させていただきます。

Q 通所受給者証はいつまでに取得する必要がありますか？

A ご利用が確定したら通所受給者証取得のお手続きをお願いします。自治体によっては通所受給者証申請時に、医師の診断や意見書が必要な場合もあるようです。あらかじめお住まいの自治体へ「（まだ利用は決まっていないが）『障害児通所支援サービス』の『児童発達支援事業／放課後等デイサービス』の利用を検討しています。通所受給者証の申請に必要な書類や手続きについて教えてください。」とお伝えいただき、必要手続き・書類の確認をされることをお勧めします。

Q 送迎はありますか？

A 地域限定で行っております。安全に通っていただくため、基本的には保護者さま等による送迎をお願いしています。

対象となる児童について

年齢	幼児（0～6歳）のお子さま	小学生以上のお子さま
施設	児童発達支援	放課後等デイサービス
資格	通所受給者証をお持ちの方または取得見込みの方が対象となります	
範囲	自治体の定める日数と自己負担額の範囲でご利用いただけます	

まずはお気軽にお問い合わせください

PONY お問い合わせ窓口

098-968-5588
9:00 - 18:00（月火定休）

pony@giveness.co
メール 24時間受付中

見学、体験をご希望の方へ

PONYでは、無料見学・無料体験を実施中です。

PONY の雰囲気や療育の進め方を実際に見たり、体験したりすることができます。保護者様の困りごと、お子さまが感じている悩みをカウンセリングさせていただき、お子さまの特性とカリキュラムについて直接ご相談いただけます。
利用までの流れについても丁寧にご説明いたします。ぜひ、お子さまと一緒に見学にご来所下さい。

事業施設名	PONY（ポニー）	連絡先	TEL:098-968-5588 / FAX:098-968-3668 / MAIL:pony@giveness.co
運営会社	GIVENESS&Co. 株式会社	営業時間	水曜日 - 日曜日 9:00 - 18:00（月曜 - 火曜 定休日）
事業内容	児童発達支援・放課後等デイサービス	所在地	沖縄県国頭郡金武町字金武 4348-2 PONY

● 住所 ―― 沖縄県国頭郡金武町字金武 4348-2 PONY

● 電話番号 ―― 098-968-5588

● FAX ―― 098-968-3668

● PONY 事業所番号 ―― 4751700271

● Instagram ―― @pony_horsetherapy

https://pony.giveness.co/